

mundef news は、国連ミレニアム開発目標 (MDGs) を軸に、音楽と ART を通じた、よりよい世界づくりを目指す一般財団法人 mundef の「今」をお伝えするニュースレターです。
mundef news is a report on mundef's current activities, which aim to change the world in a better way through music and art.



蚊帳を子どもたちへ
命を守る



Love is Free Campaign

Love is Free Campaign第6弾実施

2009年、まだmundefが「Child AFRICA」のプロジェクト名で活動を実施していた頃、アフリカの子どもの教育支援を目的にひとつのプロジェクトが開始されました。

Love is Free Campaign(ラブイズフリーキャンペーン)。アフリカの子どもへ蚊帳を届ける事業です。今回届ける蚊帳は2000張、アフリカの東南部の小国、マラウイへ届けられます。

アフリカで子どもの三大死因であるマラリアで命を落とす子どもは1日1200人。1分に約1人、マラリアで亡くなっている計算です。世界保健機関(WHO)の「World Malaria Report 2014」によれば、2013年のマラリア患者数は、約1億9800万人で、推定584,000人が亡くなりました。被害者の8割近くはアフリカに住むマラリア重症化に対する免疫がほとんどない5歳児未満の子ども。

1分に1人の子どもがマラリアで亡くなっていると推測されています。

マラリアで命を落とさなかったとしても、危険は続きます。マラリアに感染した子どもは学校を欠席がちとなり、教育を受けることが困難となりがち。マラリアに限りませんが、幼少期に病気を患うことで、栄養が十分にいきわたらず、学校で授業を受ける体力がないことがあるのです。例えば健康でも、病気のために落第することで、学校へ通う意欲が減退することも懸念されています。

教育は子どもが未来を選択するための大切なツール。その信念から、私たちは2009年以来、アフリカで帳を配布してきました。

その数は、今回の第6回目の配布で1万張に達することになります。

Love is Free Campaignとは

Love is Free Campaign(ラブイズフリーキャンペーン)とは、2009年から始まったプロジェクト。

2010年～2014年に、マラウイ共和国での蚊帳配布を4度にわたり実施しています。第1回は2010年2月(500張)、第2回は2011年7月(2000張)、第3回は2012年10月(2000張)、第4回は2014年3月(2000張)と、合計6500張を配布しました。2014年1月にはアフリカ最西端の国セネガル共和国でも2000張配布しています。

マラウイでは現在、協力パートナーである現地NGO「コンソル・ホームズ・オルファン・ケア(Consol Homes Orphan Care)」のチャボンバ代表と話し合い、同団体本部が置かれたナミテテ地区の他、2014年からはンチェウ地区でも配布が行われています。

配布に際しては、エイズ孤児であるために経済的に厳しい状況にある子ども、エイズ孤児を世話する女性で経済的困窮状態にある女性、エイズの普及啓発に関わるボランティアなど優先順位をつけて配布を行っています。





MALARIA IS ONE OF THE TOP 3 KILLERS OF KIDS WORLDWIDE. EVERY 60 SECONDS, A CHILD DIES FROM THIS PREVENTABLE AND CURABLE DISEASE.

第6回配布について

2015年、第6回配布事業の取り組みが始まりました。今回配布するのは2000張、うち1000張は活動の趣旨に賛同した住友化学株式会社のマッチング寄付により実現しました。

配布先情報

配布先はマラウイ共和国。アフリカ東南部の内陸にある小国。人口1600万人の半数が貧困世帯に属しています。

国連開発計画（UNDP）が算定する、その国の人の生活状況や発展度合いを見る人間開発指数（HDI）によると、マラウイは下から数えて187か国中170位、世界最貧国の一方国です（UNDP、2013）。人口の85%が農村で暮らしているため、病院に通うことも困難です。

一人当たりGNI（国民総所得）は320ドル。例えば病院に行きたくとも、通う費用が出せないのが現状です。

また、マラリアはマラウイ全土で一年中発生しており、6人に1人がマラリアが原因で命を落としており、5歳未満の子どもの死亡原因の第1位となっています。

蚊帳「Olyset® Net」

Love is Free Campaignでは、2009年にキャンペーンを開始して以来、住友化学株式会社の「Olyset® Net」というLLIN（長期残効型防虫蚊帳）を同社より調達しています。蚊帳で使用されるネットの部分に防虫剤を練りこみ、薬剤を徐々に表面に染み出させる技術を用いて開発されたものです。

2001年には世界保健機関（WHO）から世界で初めて長期残効型防虫蚊帳としての効果が認められ、使用が推奨されています。現在、国際機関を通じて、80以上の国々に供給されているほか、WHOなどを中心に展開している「ロール・バック・マラリアキャンペーン」にも活用されています。

*写真は2010年マラウイでのもの。現在同工場は活動を行っていません。



Misia Candle Night チャリティバーから寄付

愛と平和への祈りを込めた MISIA の歌声に包まれながら、大切なものに想いを馳せる。それが Misia Candle Night。2014年夏に全国4箇所合計5回開催された MISIA のライブで設置された「Candle Night Bar」の売上をご寄付いただきました。

いただいた寄付は、第6回蚊帳配布事業への指定寄付として、蚊帳の購入・調達費に充てられます。

■寄付総額 388,640円

■実施会場

2014年8月23日@北海道

2014年8月30日@長崎

2014年9月6日@河口湖

2014年9月7日@河口湖

2014年9月13日@香川

■協力：サントリーワインインターナショナル株式会社様
／株式会社リズムメディア様

■Misia Candle Night 特設 HP：<http://www.misia.jp/candlenight2014/>



Love is Free Campaign では毎月2回サポーター通信を発行。
ぜひお申し込みください。
お申し込みはこちら→info@mundef.net

WHAT'S MALARIA?

マラリアは「ハマダラカ」という蚊が媒介する、感染症。

現在、世界では2人に一人が、マラリア感染のリスクがあるとされています。WHOの2013年報告書によれば、マラリアに罹るのは年間約2億人、命を落とす人は約59万人。その9割がサハラ以南アフリカで発生、犠牲者の多くは5歳以下の子どもです。1分に一人の子どもが、マラリアによって命を落としている計算になります。



先進国ではほぼ撲滅されていますが、アフリカでは貧困や財政難のために十分な対策がとれません。マラリアに罹患することで、就業や教育の機会を失い貧困から脱却できないという悪循環に苦しんでいます。

マラリアによるアフリカの経済損失は年間推定すると120億ドル（約1.2兆円）。アフリカの経済発展のためには、マラリアの撲滅が必要不可欠です。

そのマラリアは蚊帳を夜間寝るときに使用する「予防」と早期発見と「治療」によって助かる病でもあります。mundefでは、蚊帳の提供を通じて、1人でも多くの子どもの命を救うお手伝いをしています。

CHANGE THE WORLD

(株)たき工房 TAKI SMILE DESIGN LABO の取り組み



TAKI CORPORATION

配布に当たっては今回は株式会社たき工房様の協力でオリジナルのパッケージをデザイン、発注しました。デザインに当たっては住友化学株式会社様からも助言をいただきながら、文字の読めない子どもたちでも、マラリアとは何か、どのように予防できるのか、わかるようにデザインしていただきました。

(株)たき工房様からは配布に関わる費用の一部もご寄付いただきました。

パッケージデザイン

また同社では、支援の取り組みの一環としてマラリアについてわかりやすく紹介した絵本を制作。制作にあたって、2014年3月の第5回蚊帳配布事業に視察に参加された同社スタッフの方たちを中心にデザイン、執筆頂きました。

TAKI SMILE DESIGN LABO から発行された絵本は都内の公立図書館を中心に寄贈される予定です。マラリア理解の一助となることが期待されています。

また絵本の中でも mudef の活動についてご紹介いただいています。



TAKI SMILE DESIGN LABO についてはこちら→<http://www.mudef.net/taki-corporation/>

Project Magoso (プロジェクトマゴソ) は、mudef が設立以来継続している、ケニアのスラムに暮らす子どもたちを対象にした、セカンダリースクールへの進学支援事業です。

Project Magoso



写真左がルワビ、右がルワビの父

ケニアから支援の進捗状況が届きました。

1学期が終了して子どもたちは成績表を持って、マゴソスクールへ帰ってきたのですが、残念ながら、成績がD以下だった生徒が数名おり、その中には mudef が支援しているルワビもいました。

mudef がサポートする奨学支援のプログラムでは、成績優秀であることが条件となるので、本来であれば、成績がDとなった段階で、支援から外することになります。

今回問題となったルワビは、母親が2004年に亡くなったことから、兄弟たちと祖母の家に住み、村人たちの牛の世話や畑仕事などをして働き、祖母を養っていました。その過酷労働がもたらした言葉が話せなくなった時期もありました。父親はキベラに出嫁ぎに来ていましたが高齢と病気のため、まともに稼ぐことができず、家族が生活していくのは困難な状況にあります。

その点を考慮し、反省文を書かせた上で、学校に戻りました。

Project Magoso HP: <http://mudef.net/magoso/>

| 学年 | 氏名 | 呼び名 | 高校名 | 学費 | 交通費 | 物品購入 | 合計(万円) | 合計(円) |
|-------|---------------------|-------|-------------|--------|-------|-------|--------|--------|
| Form3 | Hezron Lwabi | ルワビ | Kaani Lions | 17,000 | 1,100 | 3,804 | 21,904 | 27,380 |
| Form2 | Carrel Odhiambo | ボイー | Ol Kejuado | 20,495 | | | 20,495 | |
| Form2 | Irene Akoth | アイリーン | Kaani Lions | 17,000 | 1,100 | 3,804 | 21,904 | 27,380 |
| Form2 | Dorcah Atieno | ドルカ | Kaani Lions | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 全体経費 | Kaani 高校への教員交通費 | | | | 3,000 | | 3,000 | 3,750 |
| | Olkejuado 高校への教員交通費 | | | | 3,000 | | 3,000 | 3,750 |
| | | | | | | | 合計 | 70,303 |
| | | | | | | | | 87,879 |

2015年5月15日時点のレート (1ケニアシリング=1.25日本円) で計算



After School Project : 広報インターンによる FreePaper 「ニジイロサンカク」完成

広報インターンによる LGBT を伝えるフリーペーパー「ニジイロサンカク」が完成しました！

「ニジイロサンカク△」は、今回参加した広報インターンとして集まった5人組のチーム名。彼女たちが考え、アドバイスを受けながら、執筆、編集、制作まですべて担当。なんとあの企業にも体当たりで取材、プレゼントも GET しました！サイトから全ページを見ることができるのでぜひチェックしてください。



冊子ダウンロードはこちら
→http://mudef.net/after_school_project/assets/201504mudef_freepaper01.pdf

ニジイロ△からのコメント

K.S. 「冊子を手にとって頂きありがとうございます！この冊子をきっかけに、多くの人々が Happy に過ごせる世界を作っていけたらいいなと思います」

みずな 「私と同じようなストレートの方にもこの冊子を読んでもらうことによって、LGBT について知って頂けたら嬉しいです」

Y.I. 「当事者の立場から、どうしたらストレートの方に LGBT を知って頂けるかが課題でした。

少しでも何かを感じてくれたら嬉しいです :D」

みずな 「私と同じようなストレートの方にもこの冊子を読んでもらうことによって、LGBT について知って頂けたら嬉しいです。」

岡崎円花 「冊子政策を通して当事者の方々にお話を聞き、多くを学ばせて頂くと同時に、世界はこの素敵な人たちがもっと幸せになれる為に姿を変えるべきだと感じた。」

小林妃奈乃 「この冊子を読み終わった後に何か感じていただければ幸いです。より良い世界への架け橋となりますように。」

PEOPLE ARE TAKING ACTION ACROSS THE WORLD



MISIA 5/22 国連生物多様性の日にメッセージ



5月22日は国連が定める生物多様性の日。この日に向けて、COP10 名誉大使を務めた MISIA からメッセージが出されました。

同メッセージは、石川県で実施された「いしかわグリーングリーンウェイブ 2015 記念植樹式」で紹介されました。

「今日は雨が降っているけど、僕が植えた木は元気かな？あの山はどうなっているかな？」以前、植樹を行った小学生の子が言った何気ない言葉が忘れられません。

植樹をしたことによって、その子にとって、その木や植樹をした場所は、自分と関わり合いのある特別な場所へと変わったのだと気づかされたからです。

例えばその場所が今よりも自然豊かな場所になる時、例えばその場所の近くで開発が始まった時、その子は、人ごとではなく、自分自身に関わることで人と自然とのあり方を考えてくれるような気がしました。

自然と接する機会が減った現代では、人間と自然との係わり合いや、生物多様性の重要性を実感することは難しくなっています。しかし、植樹活動をきっかけに、あの小学生のように自然との係わり合いを身近なものとして感じる事が出来るのではないのでしょうか。(中略)

自然への感謝の気持ちを込めて、未来へ向けて、グリーンウェイブに参加しませんか？

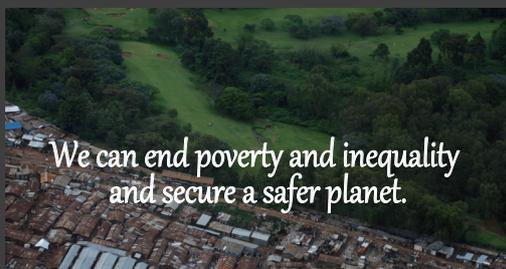
わたしたちは、生物多様性の中に生きています。

メッセージ全文はこちら→<http://mudef.net/messages/2015/05/20/000799.html>

WE ARE MUDEF.

mudef は、音楽 (music) とデザイン (design) を組み合わせたコトバ。地球には、解決しなくてはならないコトがたくさんあります。様々な問題に取り組むためには、国境を超えて人びとが協力し合うことが大切。そのために生まれたのが、mudef (ミュエドフ)。

「地球と人類が直面する宿題解決をちょっぴりでもお手伝いしたい。国境も言語も人種も超えるチカラを持つ音楽とデザインの特技を活かして！」そう考えるアーティストの集まりです。



We can end poverty and inequality and secure a safer planet.

We have so many issues to solve. To solve the problems, it is crucial that people cooperate with each other beyond borders.

We, mudef, was established for that purpose. The term mudef is a combination of the words music and design. We want to contribute to solving the issues the Earth and human beings are facing, even if only slightly, through exploiting the special power of music and design that goes beyond borders, languages and races. mudef is a group of artists who share that principle.

一般財団法人 mudef 事務局 Secretariat of mudef TEL : +81.3.5414.7778 info@mudef.net